

## 指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 平成28年4月1日～ 令和2年3月31日)

### 1 基本情報

施設名称	千葉市緑区鎌取コミュニティセンター
条例上の設置目的	千葉市コミュニティセンター設置管理条例 (設置) 第1条 本市は、市民のコミュニティ活動のための施設として、次のとおりコミュニティセンターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること。</li> <li>・地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施すること。</li> <li>・コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となること。</li> </ul>
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、市民サービスの向上を図り、さらに多くの市民に利用していただくという効果を見込んでいる。 したがって、市としては、指定管理者が民間事業者としてのノウハウを活用した質の高いサービスを提供するとともに、魅力的な事業の企画や効果的な広報活動を実施することなどにより、施設の利用が促進されることを期待している。
指定管理者名	株式会社京葉美装
構成団体 (共同事業体の場合)	
指定期間	平成28年4月1日～ 令和3年3月31日 (5年)
所管課	緑区役所地域振興課

### 2 成果指標等の推移

#### (1) 施設稼働率 (諸室) (成果指標1)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
実績値	51.7%	56.9%	58.1%	56.3%	55.8%
数値目標※	49.6%	49.6%	49.6%	49.6%	49.6%
達成率	104.2%	114.7%	117.1%	113.5%	112.4%

#### (2) 施設利用者数 (スポーツ施設) (成果指標2)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
実績値	28,066人	21,374人	29,773人	24,676人	25,972人
数値目標※	23,560人 (23,500人)	23,560人 (23,500人)	23,560人 (23,500人)	23,560人 (23,500人)	23,560人 (23,500人)
達成率	119.4%	90.9%	126.6%	105.0%	110.5%

#### (3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
コミュニティ祭り参加人数	7,000人	8,000人	9,000人	4,800人	7,200人

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

### 3 収支状況の推移

(単位：千円)

			平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計	
必須業務	収入	指定管理料	実績	68,075	66,410	66,316	67,142	267,943
			計画	68,075	66,410	66,316	66,961	267,762
		利用料金	実績	10,043	8,776	9,723	8,871	37,413
			計画	7,723	7,885	8,047	8,339	31,994
		その他	実績	0	0	0	179	179
	計画		160	0	0	0	160	
	合計	実績	78,118	75,186	76,039	76,192	305,535	
		計画	75,958	74,295	74,363	75,300	299,916	
	支出	実績	69,530	74,975	74,647	75,049	294,201	
		計画	75,958	74,295	74,363	75,300	299,916	
収支		実績	8,588	211	1,392	1,143	11,334	
自主事業	収入	実績	911	552	704	398	2,565	
		計画	487	539	400	306	1,732	
	支出	実績	1,178	749	1,136	705	3,768	
		計画	487	539	400	304	1,730	
	収支		実績	△ 267	△ 197	△ 432	△ 307	△ 1,203
	総収入		実績	79,029	75,738	76,743	76,590	308,100
総支出		実績	70,708	75,724	75,783	75,754	297,969	
総収支		実績	8,321	14	960	836	10,131	
利益の還元額		実績	388	—	—	—	388	
利益還元の内容			納入通知書による現金納付	—	—	—	納入通知書による現金納付	

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。</li> <li>・施設稼働率(諸室)、施設利用者数(スポーツ施設)について、平成29年度施設利用者数(スポーツ施設)を除きすべての実績が、市が設定している最終年度の数値目標を上回る達成率であったことは高く評価できる。(平成29年度吊り天井落下対策工事により、体育館4か月休館)</li> </ul>
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。</li> <li>・平成28年度は、利益の還元が得られことは評価できる。</li> </ul>
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。</li> <li>・施設内全照明のLED化を実施し、光熱費の削減及び環境に配慮した取り組みを行ったことは評価できる。</li> <li>・災害時、避難所開設をした際、受入体制を速やかに整え、避難者の受入・対応を行ったことは、高く評価できる。</li> </ul>
4 施設管理能力		
(1) 人的組織体制の充実	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。</li> </ul>
(2) 施設の維持管理業務	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。</li> <li>・修繕について、日常点検や定期点検を実施し、必要に応じて積極的に緊急修繕を実施し、施設の保守管理に努めた。</li> </ul>
5 施設の効用の発揮		
(1) 幅広い施設利用の確保	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。</li> <li>・ロビーにて新聞の提供に加え、テレビ・パソコン、血圧計やフリーWi-Fiを設置、体育館利用者の熱中症対策としてスポットクーラーを設置するなど、利用者サービスの向上に努めたことは評価できる。</li> </ul>
(2) 利用者サービスの充実	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。</li> </ul>
(3) 施設における事業の実施	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。</li> <li>・自主事業について、あらゆる世代や性別の方が参加できる魅力ある自主事業の実施に努めた。</li> <li>・コミュニティ祭りについて、年々参加人数が増え、平成30年度には参加人数約9,000人となる大盛況ぶりであった。</li> </ul>
6 その他 (市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮)	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。</li> </ul>

総合評価	B
------	---

【評価の内容】

- A：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
- D：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
- E：事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

## 5 総合評価を踏まえた検討

### (1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

### (上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

市民サービスの向上を図った、施設の機能改善や設備の増強等により、施設稼働率(諸室)・施設利用者数(スポーツ施設)について、市が設定している最終年度の数値目標を達成し、多くの市民に利用していただいた。また市内複数のコミュニティセンターの指定管理をしていることから、コミュニティセンター間の連携・情報共有を図り、合同企画として福島の復興支援イベントの開催や、東京五輪音頭の普及活動を行うなど、新たな魅力ある自主事業の展開に努めたことにより、施設利用が促進された。

### (2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

コミュニティセンターの管理運営においては、自主事業の収支が赤字であることから、民間企業としてのノウハウを活用した魅力的な事業の企画や効果的な広報活動を図り、収支の黒字化に努めることが必要である。

### (3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

### (4) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

ア 市の作成した総合評価案の妥当性について  
市の作成した総合評価案の内容は、妥当であると判断される。  
イ 指定管理者制度の導入効果や課題等を踏まえた制度継続の検討、その他改善点等について  
(ア) 施設稼働率及び利用者数の数値目標の達成や、収支の黒字化の実績を踏まえ、指定管理者制度導入による市民サービスの向上や、施設の利用促進などの効果が認められることから、指定管理者制度の継続が望ましいと判断される。  
(イ) コミュニティ活動のための施設としてだけでなく、災害時における避難所として、指定管理者による積極的な協力が期待される。  
(ウ) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新しい生活様式に適用させた管理運営体制を検討された。